

外観



約31万㎡の広大な敷地を誇る。老朽化と耐震化対策を契機に旧病院に隣接して新病院(延べ床面積16,498㎡)を建設。市内病院では初となる産婦人科を新設、さらに透析、健診などの医療機能を強化した。

外来トイレ 大便器・洗面



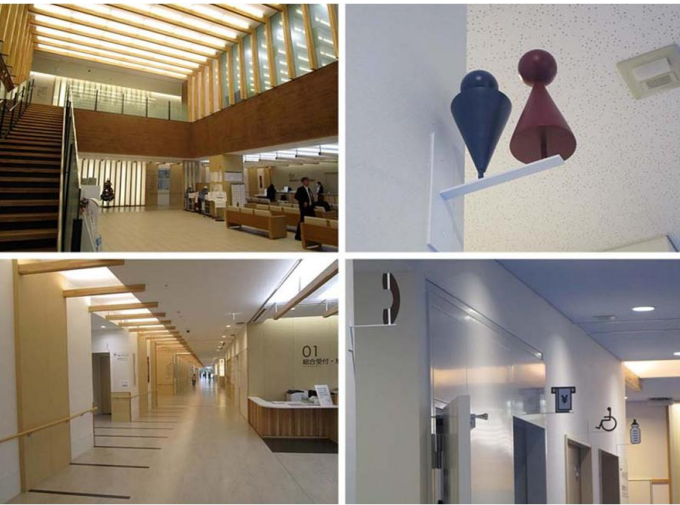
明るいナチュラルなトーンでまとめられた外来トイレ空間。清掃性に配慮し、壁掛式の大便器を採用。お子様連れの利用に配慮し、ベビーシートを設置している。

外来トイレ 多機能トイレ



車いすの利用者やオストメイトなどさまざまな利用者に対応できるように、汚物流しや大型ベッドを設置している。

内観・サイン



内装材には、栗をはじめとする県産材がふんだんに用いられ、明るい温かみを感じさせている。余材を使って制作されたサインも、個性的で愛らしいデザイン。

外来トイレ 小便器



床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛小便器を採用。尿石付着やにの元となるアンモニアの発生を抑制しながら大幅な節水を実現。

3F産科病棟4床室 トイレ・洗面



病棟階4床室の共用トイレは、プライバシーに配慮し、出入口を室内側ではなく廊下側に設置した。洗面は、車いすでのアプローチ性と清掃性に配慮したポウル一体カウンター。

3F産科病棟ナースステーション 手洗器



深いボウルで衛生的にしっかりと手洗いできる『スタッフ用手洗器』を採用。あふれ面が高く、手洗い回数の多いスタッフの腰の負担が軽減出る形状であり、かつ水はねが大幅に低減できる。

旧病院 院内保育園トイレ



院内保育園は、病院スタッフが安心して働ける環境づくりを目的として恵那病院が運営、定員12名、0～3歳児を対象とする。院内保育園のトイレには、幼児用大便器や小便器を設置。

建築概要

名 称	市立恵那病院
所 在 地	岐阜県恵那市大井町2725番地
施 主	恵那市
設 計	株式会社久米設計
施 工	(新病院) 岐建株式会社 (旧病院改修) 板垣建設株式会社
竣 工 年 月	(新病院) 2016年11月 (旧病院改修) 2017年4月

旧病院 外観



旧病院施設は、通所リハビリテーションセンターや院内保育園、訪問看護ステーション等に転用する目的で改修されている。

旧病院 病児・病後児保育室



改修後の旧病院には、市民からも要望があった病児・病後児保育室が3部屋設置された(0～12歳対象)。恵那市が管理し、市民の子育てを積極的支援していく。

水まわりの特長

＜建物の特徴＞
「市立恵那病院」は、岐阜県恵那市の中核病院であり、一般急性期疾患から亜急性期、療養までのケアミックス型の病院である。2016年、老朽化・耐震性への対応を契機とし、同敷地内に新病院を建設。市内病院では初となる産婦人科を新設し、「恵那市を安心して子どもを産み育てられる街へ」という市や地域住民の期待が寄せられている。新病院の外観は、恵那市大井町が歴史的に中山道大井宿に由来することから街並みや風景に溶け込むデザイン。栗の産地であることから、内装材にも、県産材の栗や敷地の伐採材をふんだんに使用。旧病院施設は、通所リハビリテーションセンター、院内保育園、訪問看護ステーションなどに転用する目的で改修されている。

＜水まわりの特長＞
新病院の病棟トイレは、プライバシー配慮の観点から、廊下に入口を設ける分散型レイアウトとなっている。高齢者や介護への配慮としては、車いす用トイレを点在させる対応とした。患者が使用するトイレの便器はスペース、清掃性に配慮して、主に壁掛式大便器を採用。また、感染対策として、スタッフが使用する手洗器は、深いボウルで衛生的にしっかりと手洗いでき水はねが大幅に低減できる「スタッフ用手洗器」を採用するなど、病院内トイレとしての快適性・衛生性を追求している。